

# 喜多浩一通信

Vol.2 発行・喜多浩一

## 地域と金沢の活性をめざして

何の前触れもなく、唐突に「金沢活性のために、私は市議選に出ます！」と宣言したあの日(平成23年1月9日)から早や1年余りが過ぎました。今さら市議選をふり返っても仕方ありませんが、準備はおろか後援会の組織づくりも、何一つとして整わない中でのスタートでした。

それからというもの、たとえにわか仕立てではあっても「成せば成る」と信じて、来る日も来る日もひたすらに、脇目もふらず走りつづけました。野町校下はもちろん、支援を求めて全市くまなく靴三足を履きつづけての選挙戦は、一気呵成の言葉そのままに終盤には急速な支援の輪の広がりを見せ、ごぼう抜きさながら脱兎のごとくに決勝ゴールへと飛び込んだのでした。

まったくの徒手空拳から歓喜の栄冠を勝ち取ることができたのは、ひとえに「のまち」を中心として一挙に高まった支援者のみなさんの「熱い心」以外の何ものでもあり



ません。ほんとうにほんとうに多くの方々に育てられ、支えられての「今日」なのです。それもこれもただ地域を愛するがゆえに、しかしそれ以上にわが息子わが兄弟を思うと同じ親身になっての溢れるばかりの真情があつてのことに他なりません。

この「原点」を片ときも忘れることなく、どんなときにもくじけず、あきらめず、ただ前だけを見つめて、真摯に懸命に歩みつづけなければなりません。目標はただひとつ「みんなのために」をモットーに、共に明るく力強く生きぬくことなのです。

そして、ひとつひとつ着実に成果を積み上げながら、喜多浩一金沢市議は、たゆまぬ挑戦を重ねていくことでしょう。

(広報・記)

..... 新会派「清風金沢」を旗揚げ .....

初当選後の5月、志を同じくする金沢市議3名で、新会派を結成いたしました。

その趣意は「市政に刷新の『清風』を巻き起こし、明るく、清く、美しい、本来あるべき姿に戻しつつ、健全で正しい保守本流をめざすことを目的とする。そして、高邁な志のもとに、今日を生きぬき、明日を変えることを命題に、堂々の前進を誓う」ことにあります。

小阪栄進氏、玉野道氏と手を携えて、喜多浩一は会派の幹事長に就いております。

金沢市議会議員として、また会派「清風金沢」として、次頁にご紹介させていただいたような様々の議会活動を通じて今あらためて思いますことは、いずれもすぐに結果の出ることばかりではありません。むしろ、難しい諸問題を含んでいるものがほとんどだといっても過言ではないと思います。

しかしながら、市議会での質問に立ったとき、施策に関する会合に臨むとき、いつも脳裡に浮かびますのは、ご支援をいただいた多くの方々のお顔であり、励ましていただいたの方々のお姿にほかなりません。そして、それこそが私の唯一の心の支えであり、何にも増して力強い原動力であってみれば、いかなるときもこの原点を決して忘れることなく、めげずに突き進んでいきたいと思っております。

本当に喜多を選んで良かった。当選させて良かったと、心から思ってもらえるその日をめざして着実な前進をつづけます。 (喜多浩一)

## 《喜多浩一プロフィール》

昭和 45 年 5 月	野町に生まれる	平成 9 年 4 月	今村証券株式会社入社
58 年 3 月	森山町小学校卒	23 年 1 月	// 退社
61 年 3 月	星稜中学校卒	23 年 4 月	金沢市議会議員選挙出馬
平成 元年 3 月	金沢泉丘高校卒	野町校下青年会・野町弥生消防分団所属	
9 年 3 月	早稲田大学卒	資格：証券アナリスト・ファイナンシャルプランナー 宅地建物取引主任者	

# 議会質問

北陸中日新聞 2011年6月29日付朝刊

## 【6月議会質問内容】

- 東日本大震災の経済情勢に対する影響と今後の政策について
- 中期財政計画と資金調達手段の多様化について
- 商店街などの活性化について
- 多選自粛条例案を提出した山野市長について

## 【12月議会質問内容】

- 公営企業の決算と企業局の経営計画について
- 欧州危機等の経済・財政に対するリスク対応について
- 産業構造の転換と観光促進について（にし茶屋街、寺町寺院群に対する観光整備について）
- プロスポーツに対する実効性ある取り組みとその本気度について
- 橋下大阪新市長のManifestoに対する山野市長の考えについて



**喜多浩一氏**

災害リスク分散 企業動向も注視

市は七月から、東日本大震災や原発事故で被災した企業の事業活動の継続支援などに取り組む計画であり、市長は「震災の影響もあってか、先行きに不透明感があるが、地域経済の再生と市としてな

していく考えを示した。喜多氏の質問に答えた。

また日本海側拠点港を目指す金沢港や北陸新幹線金沢開業などを見据え、「企業の立地環境が整ってきた」と指摘。東京事務所内に設けた金沢営業戦略室について「新規開拓など営業の範囲を広げ、県と連携し、早期の立地に向け努力したい」と述べた。

北國新聞 2011年12月16日付朝刊

## 犀川沿い 寺町寺院群、にし茶屋街

# 観光誘客プラン策定

寺町寺院群やしし茶屋街を中心とする犀川沿いの地区で来年度、観光誘客プランが策定される。来春には寺町寺院群が市伝統的建造物群保存地区（市伝建地区）に指定される見込み。

### 市議会一般質問

通しであり、北陸新幹線金沢開業も見据え、地域の魅力を掘り起こす。15日の市議会12月定例会本会議で、山野之義市長が喜多浩一氏（清風金沢）の一般質問に対する答弁で方針を示した。

### 市が来年度 新幹線、伝建にらみ

市内では「東山ひがし」「主計町」に続き、「卯辰山麓」が国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）に選定され、浅野川沿いに全国屈指の重伝建地区集積地が誕生している。

山野市長は答弁で、犀川沿いの寺町寺院群やしし茶屋街、野田山の国史跡「加賀藩主前田家墓所」を含むエリアには藩政期からの伝統と文化が色濃く残り、一方、観光面での整備は「浅野川に比べて遅れている」と思われるかもしれない」と指摘。

喜多浩一氏（清風金沢） 企業会計のガス事業の累積欠損金119億円は目に余る。

累損19億円は目に余る

余屋公営企業 管理者 熱量変更事業の多額の費用計上によるものであり、要因の多くは既に解消している。今年度は16年ぶりの黒字を見込むなど、長期的な収支は改善する。

喜多氏 プロスポーツに対する取り組みが十分とは言えない。

山野市長 スポーツ施設の整備を推進するなど、地域プロスポーツの支援に最大限努める。

喜多氏 政令指定都市実現の可能性と必要性は、山野市長 拠点都市としての存在をアピールする上でも政令指定都市を目指すべきものと考えているが、当面は新幹線開業も見据え、近隣自治体とより親密な関係を築いていきたい。

寺町寺院群の市伝建地区指定を機に、観光誘客について検討を進める。一般質問では、高岩（自民） 麦田徹（みらい）長坂星児（金沢保守）源野和清（公明）田美代 兵衛 喜多、前誠一（自民）の7氏が観光バス運行の可能性に登壇した。

北國新聞 2011年12月16日付朝刊

## 活動フォト



### 街頭演説

見かけた方はぜひお声をかけて下さい。  
ツイッターにて予告をしています。



### 議会質問

初めて（6月）の時も緊張しましたが、2回目（12月）は、さらに緊張しました…。

北國新聞 2012年1月9日付朝刊



出初め式  
夏に続いての  
一斉放水です。  
一年の初めに気持ち  
ひきまします。

## 後・援・会・だ・よ・り

選挙戦のあと、何と多くの方々にご支援をいただいたことをふり返って、改めて後援会組織の不備に気づきました。

あの人も、この方も後援会に入っていたか知らなければならなかったのにと、お一人お一人のお顔が目に浮かびます。

今後の課題は、組織の拡大と充実につきますと思いますので、遅まきながら後援会へのご入会を推し進めて参ります。

その際には、何とぞ格段のご協力をお願い申し上げます。

